

2022年度 授業改善アンケート第4Q/後期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
経済学入門	4 Q	小林 大州介	アンケートにご回答、ありがとうございます。内容的に難しい部分も含んではいましたが、試験に関しては皆さん、頑張られたと思います。時間配分については、今後も見直す余地はあるので、内容を圧縮して重点化をしようかと考えています。いずれにせよ、第4Qお疲れ様でした！
自然と環境	4 Q	井坂 肇	授業の理解度、満足度は全体的に良かったと思う。映像や図表をスライドの中で多く活用したことによってわかりやすい授業になったのではないかと。復習用にTeamsにスライドを乗せたが活用してくれた学生からの評判は良かった。一部見れないものがあったのでそこは改善の必要がある。出席方法に関しては統一感が無く混乱を招いたかもしれない。出席カードが現段階では一番良い。レポートに関しては年末に課題を発表し、提出期限の厳守を促してきた。提出期間が1ヶ月以上あったので期限当日の不都合で提出出来ないというのは学生の問題であり、レポートの受取を認めないのは当然だと思いで対応した。
基礎英語Ⅱ (M-2)	4 Q	岡島 徳昭	語彙力は語学学習の土台。効率よく単語を覚える工夫をしたい。
基礎英語Ⅱ (M-3)	4 Q	石田 暁子	文法事項が前期より難しく、学生間で理解度に差ができてしまっていました。個人の理解度を知るために練習問題の解答の様子を見て回っていたことが受け入れられていてよかったです。
基礎英語Ⅱ (M-4)	4 Q	井坂 肇	授業の理解度、満足度は第1Qに比べて良かったと思う、特に英語が苦手な生徒にとって分かりやすいという声があり第1Qから改善することが出来た。第4Qの授業ではプリントを多く活用したため、学生は自分で理解度を確認しながら講義を受けることが出来た。学生の当初予想していた学力と実際の学力が異なっていたため教科書を上手く活用出来なかった。次年度は教科書の選定を改め、効果的な授業を展開したい。
英語入門Ⅱ (M)	4 Q	石田 暁子	一部の学生に授業の進み方に不満があったことを知りました。具体的にどの点がよくなかったのか、教えてほしいかったです。試験日については理解が得られなかった結果なので、今後は気をつけたいと思います。
英語入門Ⅱ (D・A)	4 Q	宮嶋 達也	デザイン学科の履修登録に漏れがあり、履修登録に辿り最低限の単位数に達していない学生が履修登録後に、仕方なく履修している学生が数名いた。結果、英語が苦手な学生には少し難しい部分もあり、もともと履修していた学生に比べモチベーションなどに歴然と差が出ているように感じた。
ドイツ語入門Ⅱ (M)	4 Q	河田 一郎	「毎回基礎の復習をしてくれたのでとてもわかりやすかった」、「わかるまで教えてくれるのでとても助かった」という、嬉しいコメントをいただきました。またテキストの使用についての指摘がありましたが、文法を理解するのに必要な箇所を毎回テキストを使用し、どこに何が書いてあるのかを説明しています。学生の皆さんの負担を減らすために、最低限必要なテキストのみ購入してもらっていますが、もっと練習問題を解いてもらうためには、辞書も購入してもらった必要があるかもしれません。
ドイツ語入門Ⅱ (S・D・A)	4 Q	河田 一郎	「さらに語学力アップをめざしたいと思います」というコメントに、応援の意味を込めて、ドイツ語検定試験3・4・5級受験対策用の過去問題集を図書館にリクエストしてあります。自習用にお使いください。わからないことがありましたら、質問に来てください。
中国語入門Ⅱ (2年)	4 Q	孫 暢	①受講生人数が多かったため、「学生の理解度を確認しながら、授業を進み」ことが十分ではありませんでした。来年の課題として工夫したいと思います。②前期もあった板書の問題も、これから板書の練習、チョークの選択も頑張る所存です。③1年の授業を通して、20歳前後の学生に対して、集中力を向上するため、中間休憩が要ります。来年も続きたいと思います。④言語系の授業では、やはり発音の正確さが大事です。授業内の発音練習は一对一で聴いてあげたいのですが、人数が多いため、すごく時間がかかります。
外国語コミュニケーション (M)	4 Q	岡島 徳昭	語彙力は英語学習の土台。効率よく単語を覚える工夫をしたい。
外国語コミュニケーション (D・A)	4 Q	宮嶋 達也	教員を目指している学生だが課題をやってこない学生も多く、その分授業内でこなす時間が多くなり、予定通りの授業展開には至らないケースもあった。
日本語Ⅱ (留学生)	4 Q	佐藤 恵利	ポジティブな回答が多かったが、今後も学生のニーズに答えながら、わかりやすい授業づくりを心掛けていきたいと思ひます。コメントに「みんなとコミュニケーションが取れてよかった」とありました。言語を学ぶにあたり、コミュニケーションは大きな目標の一つだと考えます。今後もペアワーク、グループワーク等の提案をしていきたいと思ひます。
日本語Ⅳ (留学生)	4 Q	佐藤 恵利	ポジティブな回答が多かったが、今後も学生のニーズに答えながら、わかりやすい授業づくりを心掛けていきたいと思ひます。日本語Ⅳは試験対策が主な内容ですが、日本事情やニュース等も盛り込み、単調な授業にならないよう努めたいと思ひます。

健康科学 (S)	4 Q	尾西 則昭	貴重なご意見ありがとうございます。学生からの改善について話し方、時間配分、理解度等全体的に満足をしていない学生がおりましたので今後は、満足のいくような授業展開を心がけていきます。ありがとうございました。
貧困に対する支援	4 Q	大倉 司	教科書の記述を前提としてパワーポイント資料を使って解説を加えるという授業の進め方に受講生がなじんでいたこともあり、概ね理解しやすかったとの講評をいただいたものと考えている。あらかじめ資料をTeamsのファイルにアップし自宅学習にも使えるようにしておいたことが学習意欲を引き出すことにも繋がったものと判断している。
児童・家庭福祉	4 Q	杉本 大輔	猛省します
社会調査の基礎	4 Q	杉本 大輔	猛省します
西洋美術史Ⅱ	4 Q	竹内 美帆	スライドや動画を活用するなどしてわかりやすく伝えられるよう配慮したため、作家や美術作品について関心を持った学生が多かったのはよかった。テスト前の前置き（テスト範囲の確認など）が長いとの意見があったため、来学期はテスト範囲はファイルをTeamsにアップロードしたものを確認してもらうなどして対応したい。カタカナが多く留学生にとってテストが大変だったと考えられるが、記述問題だけでなく選択問題を増やすなどして、留学生にも負担が少なくなるよう配慮したい。
福祉環境計画論（3年生）	4 Q	佐々木 哲之	受講した学生はこの科目に非常に興味を持ち受講してくれたと思う。アンケート結果は全体的には概ね満足できる結果であった。ただ、最終課題への取り組みに対して時間が不足していた。この事が今後の課題である。
文章表現演習 (D)	4 Q	津田 昭彦	出張が重なることが多く、学生には迷惑をかけてしまったと思います。それを加味したうえで、より良い授業づくりに努めたいと思います。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ (M)	4 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。今後も皆さんの理解が深まる授業の進め方、資料や教材の工夫を意識していきたいと思います。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ (S)	4 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。今後も皆さんの理解が深まる授業の進め方、資料や教材の工夫を意識していきたいと思います。
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	4 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。今後も皆さんの理解が深まる授業の進め方、資料や教材の工夫を意識していきたいと思います。
地域福祉の理論と方法Ⅱ (M)	4 Q	上原 正希	社会福祉学部の社会福祉士や精神保健福祉士の資格取得者をメインとする授業でしたが、おおむね経営学科の学生にも満足をいただき良かったです。より難しい話を、専門以外の学生にも伝えられるようにしたいと思います。
地域福祉の理論と方法Ⅱ (S)	4 Q	上原 正希	主には社会福祉士や精神保健福祉士の資格を目指す学生への授業ですが、経営学科の学生もいることから、授業のレベルをどこに合わせるかが難しいのですが、経営学科の学生にわかりやすく説明をしようとする、社会福祉学科の学生には簡単に、レベルが低く感じるかもしれませんが、なるべく具体的にわかりやすくということをコンセプトに授業を行っています。そのため、図を使つての説明などもしておりますが、とてもわかりやすいとコメントもいただき、ありがとうございます。引き続き、教科書やVTRなども活用し、わかりやすい授業を心がけたいと思っております。
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅲ	4 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた73%、十分満足できた27%となっており、一定程度満足していただけた内容になっていると実感しました。コメントよりは現場経験の話が、よくも悪くも少しの変化を招いていることが垣間見え、これからの様々な体験談などを提供し、学生の着任への準備ができるよう工夫していきたいと思つています。今後もそれぞれ工夫をしながら、さらなる向上を図りたいと思つています。
精神保健福祉制度論	4 Q	大島 康雄	内容としては適切があったので、最適に近づけるように努力していきたいです。
地誌	4 Q	渡部 齋	今年から、授業が第4Qに移行したため、フィールドワークが出来ず残念でした。
肢体不自由教育Ⅱ	4 Q	千葉 聡美	後半の模擬授業に向けて、説明と作成の時間が十分とは言えず消化不良の学生が多かったようだ。模擬授業は初体験で興味がわいたようだが、来年に向けて授業づくりと模擬授業の時間を十分とりたい。肢体不自由の状態について理解している前提で講義を行ったが、難しいと評価している学生が多く、肢体不自由の基礎基本をもっと充実していきたい。
民法 (M)	4 Q	青山 浩之	民法は第4クォーター水曜日2講目と木曜日3講目の科目で、履修者79名、平均出席者61名（平均出席率77%）という状況で、回答者が61名と回答率77%であった。履修者が多数で、対面教室(1305)と遠隔授業(1306)の二教室で実施し難しい状況となった。座席指定し2回ごとに対面教室で実施した。授業スキルの評価は、「内容は興味や関心が持てるか」では好評価を受け、授業の全体印象に関する評価では、「全体満足」は好評価を受けました。「配布されたプリントもわかりやすい」「復習があり理解できた」と評価を受けました。これからも理解度を高め、興味や関心を持てるように工夫していきたい。

社会心理学	4 Q	松下 守邦	小人数クラスにて、テキスト講読、分担報告をおこなってまいりました。報告関連事項について図書館、ネット資料などを利用して下調べが必要になります。授業日週二日インターバルに制約もあり、Teamsファイルの参考資料を利用してまいりました。ていねいな読解報告がみられました。さらにグループワーク展開がとりこめるよう授業設計を検討してまいります。
障害児保育Ⅱ	4 Q	坂上 俊樹	授業内容の理解に関わり、あまりよく理解できないという学生がいることが改めてわかった。作成資料や講義の仕方等の工夫とともに、質問タイムや授業ごとの豆テストなどを取り入れて、理解の促進を促すよう努めたい。
知的障害教育Ⅱ	4 Q	藤根 収	比較的高い評価をいただきました。今後も学生の皆さんにわかりやすく実践的な授業を進められるよう努力したいと思います。
国際法 (M)	4 Q	細川 光法	授業を評価していただきありがとうございます。これからもタイムリーな内容を交えて、分かりやすい授業をしていく所存です。
国際法 (S)	4 Q	細川 光法	授業を評価していただいた上、ねぎらいの言葉ありがとうございます。今後もタイムリーな内容を交えながら、より分かりやすい授業をしていく所存です。
子どもの理解と援助	4 Q	吉江 幸子	「子どもの理解と援助」を受講していただきありがとうございます。"子どもを理解する"ための理論編と方法を学ぶために、まずは自己理解から始める(アセスメントで自分を知る)勉強をしました。グループワークや毎回のミニレポートもマメにコツコツと取り組む皆さんの姿勢はとても好感が持てました。ぜひその姿を持続させましょう。アンケート評価も「授業を理解できた」という回答が多かったことが何より嬉しいです。今後も皆さんからの回答を基に改善・工夫に努めたいと思います。
造形表現Ⅰ	4 Q	浩而 魅諭	回答有難う存じます。長年教職についていて思う事は、授業は教師と生徒とが一丸となって作り上げていく共同作業だという事です。教師が一人歩きしてはいけない生徒がバラバラでもいけません。信頼関係が成り立ってこそ教養は染みて行き生徒同士の高め合いや集団全体の向上があると信じています。第4Qのみの短期間の授業でしたが受講生全員が向学心ある誠実で優しく素直で明るい学生でした。受講生に助けられ何とかなったようでほっとしました。
子どもの健康と安全	4 Q	宮崎 剛司	アンケートの各項目において肯定的な結果となった。今後はより充実した講義結果となるようにさらに能動的な演習講義形式に変えていこうと考える。
基礎デザインⅡ	4 Q	林 春生	一人ひとり、注意して指導に当たったつもりだが、説明が足りないコメントを頂いて、反省しております。次回からは取りこぼしの無いようにいたします。
WEBデザインⅡ	4 Q	近澤 潤	本科目では、Webデザインに特化したソフトウェアを使用して、効率よく戦略的なデザインの構築ができることを目標として開講した。ソフトウェアの操作方法の習得については重点的に行い、受講生からも一定の評価を得られたと考える。しかし、習熟度に差が生じたため、教材など再考したい。また、最終課題は第7回で提示したが、「遅い」と感じる受講生もいたため、初回から内容を提示することも含め、今後の改善に取り組むたい。
WEBデザインⅣ	4 Q	山腰 雅樹	現場に即した環境での実践である為か、現場においてもアンケート結果からみてもやや内容が難しく感じる部分がありそうでした。半数以上は授業内容に興味を持ってもらえたようでしたので、基本的な内容やスタンスは維持しつつも、授業回数内で十分理解できる範囲に落とし込んだカリキュラムを策定し改善していきたいと思います。
アニメーションⅡ	4 Q	梅田 真紀	今回は特に授業への満足度が高かった結果でした。履修生の意欲や作品の完成度に比例していると感じます。各自のアイデアを実現する形にする際に、技術的なつまづきによりモチベーションが下がることがないよう、フォローをしていきたいと思います。
キャラクターデザインⅡ	4 Q	三上 いずみ	例年と比較して受講学生が2倍になり、実技授業でもあり、対応にとても苦慮した。全員に満足のいく授業ができなかった部分があり、アンケート結果にも表れている。学生それぞれは真剣に課題に向き合い、完成度の高い作品ができた。受講生人数が想定を超えた場合にも制作環境を整え、授業の質に影響がでないよう対策する。
保育の計画と評価	4 Q	吉江 幸子	保育の計画と評価を受講していただき、ありがとうございました。短期留学生も一緒に受講でしたがグループワークするたびにお互いの地域の意見交換もできて例年とは違った雰囲気が進めることができました。皆さんの協力に感謝しています。2年生にとっては次年度に初めての保育実習が控えています。保育計画の必要性和立案の難しさ、子どもの姿の捉え方等で苦慮した姿も見られました。今後も皆さんが安心して実習、就職へと歩を進められるよう授業の工夫に努力したいと思います。高評価を頂きありがとうございました。

保育内容演習Ⅱ（人間関係）	4 Q	松下 守邦	保育者の人間関係を育てる視点について、保育所保育指針解説とテキストから専門的視点を抽出、視聴覚資料と関連付けてレポート作成してもらいました。学生間グループワークなどが授業展開できるよう、さらに授業計画を改善してまいります。
施工管理技士演習Ⅰ	4 Q	小笠原 健	ほぼ履修者全員が適切な講義として評価頂きました。この講座は、選択科目かつ演習科目であり、かつ、二級建築施工管理技士一次試験の合格を目指すための講座です。昨年度ならびに一昨年度の履修者では不合格者が1名しかおらず、ほとんどの履修者が合格しています。演習科目であるため、今まで受講してきた講座のスキルをもとに徹底的に過去問を繰り返し演習することで合格できる実力を養うものです。この授業方法および授業内容で十分な実績をあげていますので、引き続き、次年度の施工管理技士演習Ⅱを受講してもらいたいと思います。ただし、毎年6月の本試験を目指さない方および施工管理技士演習Ⅰの講義内容に不満な方は、無理をせずに施工管理技士演習Ⅱの履修登録はご遠慮いただきたいと思います。
建築法規Ⅳ	4 Q	佐藤 善太郎	建築法規Ⅳでは、特に復習も兼ねて学生が躓きやすい事柄について時間をかけた。受講者によっては時間がかかって「まどろこしい」と思う者も居たかと思うが、こちらでは全員の理解度を測りながらの進行なので、理解して欲しい。法規の学習は、4年生科目の「二級建築士演習」内でも行う。
スポーツ社会学	4 Q	戸佐 晃一	アンケートで指摘のあった部分について、今後の授業の中で見直し改善していきたいと思います。
スポーツ社会学（SP）	4 Q	戸佐 晃一	アンケートで指摘のあった部分について、今後の授業の中で見直し改善していきたいと思います。
財務会計論	4 Q	石山 玄幸	たくさんの方から高い評価を頂いたことに感謝します。財務会計論は、当学年から経営学部の必修講義となっておりますが、経営学部に所属して決算書が見れないということは恥ずかしいことです。スポーツマネジメントコース以外の学生は、経営分析論も必修講義となりますので、引き続き、受講して下さい。
基礎統計演習(M)	4 Q	河野 善文	図や数式など、見やすく分かりやすい丁寧な板書をこころがけたいと思います。
基礎統計演習(S)	4 Q	杉本 大輔	さらなる工夫をこらし、数学的方法の教授に努める。
基礎統計演習(D)	4 Q	伊藤 裕康	多くのExcel関数を使用し統計処理を行っていたことで、学生の中には難しいと感じる人もいたと思います。ときどき、授業スピードがはやいと指摘ももらっていたので、今後気をつけたいと思います。
基礎統計演習(A)	4 Q	伊藤 裕康	多くのExcel関数を使用して課題を解いてもらいましたが、良くできていたと思います。
北海道経済論	4 Q	小林 大州介	アンケートのご協力、ありがとうございました。時間配分に関するご指摘が多かったと思います。以後余裕を持った授業設計が出来ればと思います。いずれにせよ、第4Qお疲れ様でした！
会社法	4 Q	青山 浩之	会社法は火曜日4講目と水曜日3講目の科目で、履修者108名、平均出席者87名（平均出席率74%）という状況で、回答者が95名と回答率88%であった。シラバスの説明に関する評価では、93%が適切と回答した。遠隔授業の説明は一切ないにもかかわらず、遠隔授業を希望する学生が多数いた。授業スキルの評価は、「内容は興味と関心が持てるか」では好評価を受け、授業の全体印象に関する評価では、好評価を得ました。「配布されたプリントの縮小した文字が見にくい」と指摘を受けました。オリエンテーションでシラバスの説明をさらに徹底していきたい。加えて興味と関心を持てるように工夫していきたい。
マルチメディア表現	4 Q	由水 伸	肯定的なコメントも頂いていましたが、その中から以下の内容について回答します。 > 「学ぶ内容が多いため、とても早い進行でどこが重要かということが少々分かりにくかった」 この点については理解しています。一部の内容は情報システム論で学ぶべきものなのですが、マルチメディアコンテンツを作成する際に最低限必要なものをまだ学んでいないので、この授業で「予習」しています。そのため、内容が多くなっています。将来に向けて、開講時期を情報システム論の後にするよう調整を考えます。 > 「重要な点やテストに出すようなところを授業中に教えていただけると分かりやすくなると考えています。」 重要な点は強調していますが、その数が多いとも言えます。先程の説明の通り、情報システム論との開講時期を調整する方向で考えたいと思います。なお、テストに出るところ、というのをズバリ教えるわけには行かないのですが、試験前の講義は総復習という意味で過去問などの解説をしています。（今年はこのアンケート実施後の授業でした） なお、受講者の負担を減らし、よりわかりやすくするために、次年度のカリキュラムを少し調整しています。ご意見ありがとうございました。

スポーツ医学	4 Q	黒川 泰任	かって「根性」や「努力」や「うさぎ跳び」で象徴された運動やスポーツは、科学的な背景を得て激変しました。なぜそうなるかはさておき、「どのような仕組みなのか」「どのように起こるのか」「この現象の利点は何なのか」など、運動を論理的に分析することが現代のスポーツです。この講義はきっかけですので、興味を持った「何か」を、さらに自分で追及し、皆さんが運動したり、指導する際に「科学」することを期待しています。
管理会計論	4 Q	鈴木 重政	管理会計論は経営学の最高峰の科目です。戦略を決定し予算を立てるという経営者として必要な過程を理解できたと思います。
スポーツと栄養	4 Q	湯浅 頼佳	概ね良い回答を頂きましたが、毎年「シラバスの説明を受けていない。」とか「授業の進め方が本意ではない。」とのご意見を頂くので、少数ではあってもその点を注視し全員が満足できる授業を目指して参る所存です。
eビジネス論	4 Q	阿部 裕樹	今後も、学生が講義内容により一層、興味をもてる内容で企画・構成し、eビジネスへの理解度を深めていくための改善を継続します。
コミュニティ心理学 (M)	4 Q	吉澤 英里	※同一科目ですので、経営学科用と社会福祉学科用と同じコメントを記載します】アンケートへの回答をいただき、ありがとうございます。毎回手探りで進めてきましたが、概ね適切だと評価をいただき感謝しています。前回の振り返りが良かったとのコメントがありましたので引き続き行います。その一方で、お一方、「理解できなかった」と評価をいただきました。丁寧にフォローができなかったことを反省しています。次年度はさらにコミュニケーションを取りながら進めていきます。
コミュニティ心理学 (S)	4 Q	吉澤 英里	※同一科目ですので、経営学科用と社会福祉学科用と同じコメントを記載します】アンケートへの回答をいただき、ありがとうございます。毎回手探りで進めてきましたが、概ね適切だと評価をいただき感謝しています。前回の振り返りが良かったとのコメントがありましたので引き続き行います。その一方で、お一人から「理解できなかった」と評価をいただきました。丁寧にフォローができなかったことを反省しています。次年度はさらにコミュニケーションを取りながら進めていきます。
地域政策論	4 Q	高見 啓一	少人数の授業でしたが、全員「とても満足」との評価をいただきました。ありがとうございました。コメントを寄せてくださった方の文章を紹介します。「授業の説明や進め方が非常にわかりやすかった」「受講人数少ないということもあり、真剣に講義と向き合うことが出来ました。先生が楽しそうに講義をするので受ける側も気持ちが楽になります！ありがとうございました、お疲れ様です！」「今までにない講義でしたのでとても楽しく受けることができました。着眼点が他のところは違うところに注目するので、今後の生活に役に立つかもしれません。」ありがとうございました。地域政策を「自分ごと」としてとらえることの面白さに気づいてもらえれば何よりです。おっしゃっていただいたとおり、私も、みなさんが調べてくれた地域課題などを一緒に分析することができて、楽しく授業をすることができました。「今までにない授業」と感じてもらえたのは、卒業前のみなさん自身の気持ちが「勉強は面白い」「学びは役に立つ」という姿勢が変わったことが一番の原因だと思います。地域課題は「同じ世界」であっても、それを見る人の姿勢によって世界観は変わります。授業も仕事も同じです。これから社会に出ても、いろいろなことを「自分ごと」としてとらえ、学び続けてください。
倫理学概論 (S)	4 Q	遠藤 均	授業満足度が88%で、授業中もたびたび拍手がわき起こっていた。そういう非常に熱心な学生がいた一方で、発言の真意を理解せず、ひどく曲解していた学生がいたことを知った。今後は、そういう学生がいる可能性を念頭に置き、誤解されないような表現方法を工夫する必要があると感じた次第である。
サードセクター論	4 Q	山本 一彦	アンケート結果から、受講者のうちの2名がよく理解できなかったと感じているようであったが、留学生であったことが推察される。今後、日本語表現がよりよく伝わるよう、発話、板書ともに表現の工夫を心掛けたい。
教育行政学 (M・D・A)	4 Q	藤根 収	今後も学生の皆さんに具体的でわかりやすい授業を進められるよう努力したいと思います。
教育行政学 (S)	4 Q	藤根 収	今後も学生の皆さんに具体的でわかりやすい授業を進められるよう努力したいと思います。
教育心理学 (M・D・A)	4 Q	吉澤 英里	※学科ごとに分かれています。共通のコメントを掲載します。アンケートへの回答をいただき、ありがとうございます。毎回手探りで進めてきましたが、概ね適切だと評価をいただき感謝しています。その一方で、「理解できなかった」と評価をされた方もいらっしゃいます。丁寧にフォローができなかったことを反省しています。授業時間について、10:30ギリギリだと次への移動が大変とのコメントをいただきましたので、次年度は早めに終わるように気をつけます。

教育心理学 (S)	4 Q	吉澤 英里	※学科ごとに分かれています。共通のコメントを掲載します。アンケートへの回答をいただき、ありがとうございます。毎回手探りで進めてきましたが、概ね適切だと評価をいただき感謝しています。その一方で、「理解できなかった」と評価をされた方もいらっしゃいます。丁寧にフォローができなかったことを反省しています。授業時間について、10:30ギリギリだと次への移動が大変とのコメントをいただきましたので、次年度は早めに終わるように気をつけます。
道徳教育の指導法	4 Q	遠藤 均	授業満足度が81%で、講義中に何度か拍手が起きた。熱心に聴講してくれた学生に心より感謝したい。翻って、「戦争になったら日本のために云々」といったひどい誤解をしている学生がいるのを知って、大変驚かされた。今後は、そういう曲解が生じないように、デリケートな問題については、とくに懇切丁寧に説明する必要があると痛感した次第である。
総合的な学習の時間の指導法	4 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「丁寧な指導をいただき、これから総合的な学習の時間について自信を持って指導にあたれると感じています。」「調べ学習や考える時間が多くあって、とても頭を使う講義でした。」「説明がとても分かりやすかったです。」「ありがとうございました。理解が深まりました。もう15時間受けたいです。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
データサイエンス論	後期	近澤・野村	本科目は、PBL形式であったが、50名以上の受講生となったため、より細かな調査設計やデータ分析を行う後半パートでは、担当教員ごとにグループ編成を分けて実施した。しかし、扱うテーマの差などから学習内容にばらつきが生じてしまったため、次年度は受講生に対して十分な説明を行いグループ編成を行うこととする。また、連携先との都合上、授業スケジュールについても流動的となった点も、改善を図る。
平面構成Ⅱ (赤木)	後期	赤木 良子	グループ作業は、皆さんが良い経験ができて、思ったより面白い作品ができたと思いました。課題のやり方の説明がわかりにくいという意見がありました。が、難しい課題など、やり方をもう少し知りたいなど、なんでもいいので、その都度質問してもらえたらと思います。理解度は人によっても異なるので、その説明で十分な人もいれば、十分でない人もいるため、わからないことはほとんど聞いて欲しいので、そのことを次回からは伝えていこうと思います。今回は作業時間の確保を優先したので、作品のフィードバックが少なめでしたが、増やしていこうと思います。
デッサンⅡ (A)	後期	西田 陽二	短い時間ではあったが学生は良く集中してデッサンに取り組んだと感じた。成果が出なかった学生も体験的に糧になったと思う。
デッサンⅡ (B)	後期	西田 陽二	短い時間ではあったが学生は良く集中してデッサンに取り組んだと感じた。成果が出なかった学生も体験的に糧になったと思う。
デッサンⅣ	後期	西田 陽二	難度が高くなったモチーフに苦労していた学生もいたが、全体的には成果が出たように感じた。
簿記論	後期	鈴木 重政	簿記論は学生の理解度を確認しながら、毎回オリジナル教材を作り、90分授業のうち初めの20分を前回の復習、60分を本題、そして最後の10分をミニテストとして進めてきました。15回の授業のうち11回以上出席した学生のほとんどが単位を修得しました。今後の会計科目につなげて頑張っていたきたいと思います。
キャリア支援演習Ⅱ (M)	後期	石山 玄幸	たくさん学生の高い評価を頂いたことに感謝します。当該講義は、大学卒業後の就職に向けて、まずは、社会人としての基本などを中心に外部講師の話聞くことが一番の目的です。単位を取得した学生は、引き続き、将来に向けて自分の進路を考え、自分にとって最善の道を選択できることを期待します。
キャリア支援演習Ⅱ (S)	後期	尾西 則昭	貴重なご意見ありがとうございます。教育、子どもに関するテーマが、少ないとの指摘を受けましたので今後提供できるようにします。
キャリア支援演習Ⅱ (A)	後期	横山 哲也	換気を適度に行う。
ソーシャルワーク演習	後期	上原 正希	3名の教員で担当しておりますので、それぞれの専門なども異なることから、力を入れる部分やペースなどが異なることはあったかと思えます。よって最初の授業の説明の際に伝える必要性を感じました。初めてのグループワークですので、戸惑いのある学生やコミュニケーションをとるのに不自由を感じる学生もいるかもしれませんが、引き続きわかりやすく伝えていければと思っております。
精神疾患とその治療Ⅱ	後期	伊東 隆雄	この科目では、国際疾病分類に依拠して、代表的な精神疾患の概要について授業しました。疾患によって当事者がどのような困難をかかえ、どんな支援を求めているのか、ということをも具体的な事例を交えながら解説しました。配布した資料は、今後の自己研鑽のために活用して、より良い支援者になることを期待します。

立体構成Ⅱ	後期	梅田 力	概ね良い評価を受けたが、最終課題が少し難しすぎた印象を持っている。そのほかの課題特に前半の技法に特化した課題は楽しんでやっていただけではないかと思う。次年度に向け、最終課題の難易度と内容、それに時間の確保の再検討をしたい。
デジタルデザインⅡ	後期	上坂 恒章	この授業は、「興味・関心できた」で「そう思う」以上が100%、「理解できた」以上が88%、「満足できた」以上が87%であった。デジタルデザインⅠを履修済みを推奨しているが、数人は履修していなかったため、その分、理解度が落ちた結果となっていると考えられる。コメントで、「時間が少ない中でPhotoshopの基礎の知識をプリントを配りながらわかりやすく教えてくれました。」「テキストのプリントを配布があったので、後で読み返しができるところが良かったです。」との意見があった。
イラストレーション基礎Ⅱ	後期	佐藤 正人	イラストレーション基礎Ⅰからの流れで描法を学ぶ実技授業中心に行ったが、授業前のシラバスの確認についての指導があまり行き届いてなかった事は次年度に気を付けたいものです。授業自体は半数以上の生徒が満足のいくものとして感じてもらったのはいいですが、約1割は満足いかなかった点はデジタルソフトの実践的指導がなかったことに繋がっていると思われるので次年度には考慮したいものです。
プロダクトデザインⅡ	後期	林 春生	あまり理解できずの生徒が居ました。次回からは授業内容を改善して、そのような学生が出ないように致します。
図学Ⅱ	後期	赤木 良子	前向きなコメントが多く、嬉しく思います。図学はとても基本的な製図なので、製図が好きでなければ興味が持てないかもしれませんが、少しでも製図の基本についてわかったことやできるようになったことがあれば、よかったですし、デザインの技術の一つとしてもこれから活用できるのではないかと思います。ありがとうございました。
絵画Ⅱ	後期	西田 陽二	それぞれの個性も伺わせる作品内容に近づいたと感じた。
洋画Ⅱ	後期	安田 祐造	みんな、よく頑張ってくれました。これからも頑張ってください。
漫画Ⅱ	後期	三上 いずみ	アンケート結果では「適切であった」「理解できた」が占め、学生の反応からも昨年に比べてよりよい授業になったと感じる。前期・後期の流れで「描き方」から「作品制作」へと段階を踏んでいるが、後期授業でストーリー漫画を仕上げることはかなり難しいと感じる学生もいたようである。学生の習熟度に合わせて個別に指導してはいるが、不十分な部分があるようなのでさらに丁寧な授業を心掛けたい。
ビジュアルデザインⅡ	後期	田中 靖之	今期の受講生は少人数のため、個別指導（アドバイス）に重点を置くことができました。結果、理解度が深まり制作レベルも向上しました。改善点としては、＜展開デザインのシュミレーション＞に演習時間の配分を多くすべきと考察しました。
イラストレーションⅡ（2年）	後期	浩而 魅諭	アンケートの回答有り難う存じました。今回はシラバスというものの、第一回目から三回目の授業ではまだ受講生が確定していないということ、teams、そのほか全てのことが初めてで手探り状態でスタートしてしまいました。受講生は皆素直で真面目な学生でした。受講生たちに支えられながら、一個一個学校の仕組みを理解しつつ授業を進めて参りました。プロの現場がどういふものか、そのために必要な技術と素養を身につけてもらうべく来年度はアンケート結果をもとにより工夫してわかりやすく伝わりやすい授業をして行く所存です。
イラストレーションⅡ（3年）	後期	浩而 魅諭	アンケートの回答有り難う存じました。受講生は皆が素直で真面目な学生でした。初めて出会う学校のシステムなど戸惑いながらも受講生に助けられながら何とかこなして授業を進めて参りました。暖かく見守ってくれた受講生たちには感謝しかありません。プロの現場がどういふものか、そのために必要な技術と素養を身につけてもらうべく来年度はアンケート結果をもとにより工夫して授業をして行く所存です。
イラストレーションⅣ	後期	佐藤 正人	3年生後期の授業と言う事で、より実践的な課題で進める事でイラストレーション・デザインの仕事や現場への興味や理解を得てもらうことを目標に行ったが、7割の生徒が満足のいくものと感じてもらえた事は良かったと思います。単なるイラスト制作だけではなく媒体化をする事で、それぞれのテーマ、コンセプトを意識してもらえてそれぞれの生徒のスキルアップにも繋がったでしょう。
版表現Ⅱ	後期	鳴海 伸一	皆さん、この度は積極的に講義に参加いただきありがとうございました。今年は大人気で慌ただしい実習ではありましたが、皆さんの「作品づくり」の姿勢を見せていただき救われました。授業の内容もサンプルの作成、動画や画像の準備、材料の準備などより一層みなさんの効果のある学びとこの先のスキルになるよう工夫してゆきます。みなさん、ありがとうございました。

日本画Ⅱ	後期	岡 恵子	授業初日にシラバスの確認をしましたが、当日の欠席者には再確認出来ていませんでした。日本画Ⅰでは主に日本画の基礎知識と画材の扱い・技法について学びました。日本画Ⅱでは、どの学生にも自ら考え積極的に制作する姿勢が見られ、楽しいだけでなく文化として教養としての日本画を学ぶことが出来たのではないかと思います。今後も引き続き良い授業が出来るよう努力致します。
コンテンツデザインⅡ	後期	上坂 恒章	この授業の受講者の「理解できた」以上が83%、「満足できた」以上が83%であった。3年生後期のレベルとしており、教科書を指定し、事前、事後学習を進めていたが、残念ながら教科書を用意していない受講者があり、必然的に理解度が落ちる。コメントの中で、「PC作業は苦手でしたがやってみて自分でも出来る楽しかった」の意見もあった。
技法・材料研究Ⅱ	後期	安田 祐造	本学のファインアートを内外にアピールする力は皆さんが発するものです。これからも頑張ってください。
彫刻Ⅱ（2年）	後期	梅田 力	概ね良好な評価を頂いた。 課題は程よいとのことであったが、できればもう1つ課題を増やしたい。大きさや時間配分等検討して、より充実した授業となるように工夫したい
彫刻Ⅱ（3年）	後期	梅田 力	概ね良好な評価を頂いた。 課題は程よいとのことであったが、できればもう1つ課題を増やしたい。大きさや時間配分等検討して、より充実した授業となるように工夫したい
漫画Ⅳ	後期	五十嵐・鴨	概ね良好な結果ですが、さらに効果的に学んでもらう指導方法を探り、今後も学生一人ひとりの性質に合わせて技術力を伸ばしていく授業を目指します。
彫刻Ⅳ	後期	国松 明日香	今年もコロナ感染症が終息をみなかったため2教室を使い授業を行った。熱心な受講生が多く、私の話をメモにとったり、授業で使用する素材についても工夫を凝らすなど真面目に取り組んでいた。昨年のアンケートを反省材料として授業に臨んだことによるのか、本年度は概ね良好なアンケート結果であった。留学生も積極的に授業に臨んでいて、作品も素晴らしい成果を上げていたと思う。
建築設計演習Ⅱ	後期	日野 桂子	設計演習は授業時間以外にも時間をかけて設計しなくてはいけない授業ですので課題期間には十分時間をとっています。この授業で建築に対して興味を持てるか、また、建築関連の仕事どの分野に進みたいかを建物を設計をすることで検討してもらえると良いと思っています。提出された課題は発表会で発表することで生徒に共有されます。紙だけの提出だけでなくpdf提出で共有化することもあって良いと思います。
ユニバーサルデザイン演習	後期	安藤 淳一	通常の授業では経験できないような企業の講習やショールームの見学は貴重なものであったと思います。実測調査は、建築職の職能として必要なものであります。このような内容を含め、次年度はさらに改善していきたいと思っています。
ビジネスコミュニケーション演習	後期	本間 智子	学生の皆さん、16コマの授業、大変お疲れ様でした。又、様々なご意見をありがとうございました。来年度は更にわかりやすい資料、より理解しやすい授業を目指し、皆さんが社会に出た際に必ず役に立つための熱意ある授業を創り上げていきます。
球技Ⅲ（バドミントン）	後期	戸佐 晃一	指摘のあった個所について、今後検討したいと思います。
ダンス	後期	天野 雅斗	現代的リズムのダンスやフォークダンスは学生の習熟状況を見ながら進めることが出来たが、創作ダンスの配分が全体を通して少なくなってしまう最後の発表会に向けた練習時間が想定より確保できなかった。今後はより自己表現が可能になるよう創作ダンスの時間配分を多くとる。
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	後期	渡部 齋	実践的な授業が有効的でした。熱意のある授業姿勢が素晴らしいです。
社会科・公民科教育法Ⅱ	後期	松下 守邦	本年度の履修学生さんは主体性が高く、模擬授業実施まで取り組んでもらうことができました。授業づくりは、可能な限り時間をやりくりして本番までカイゼンをおこなってください。教材研究、指導案作成等の提出物は、次年度の学生さんの履修教材として活用させていただきます。
教育相談（カウンセリングを含む）（M・D・A）	後期	管藤 美穂	対面講義、遠隔講義、集中講義とイレギュラーな形式での講義でしたが、積極的にご参加、ご協力頂き本当にありがとうございました。 遠隔講義時の皆様の理解度の確認方法や、今回のように講義内で本アンケートを実施する事が出来なかった場合の回答周知方法について、今後更に検討していきたいと思ます。
教育相談（カウンセリングを含む）（S）	後期	管藤 美穂	対面講義、遠隔講義、集中講義とイレギュラーな形式での講義でしたが、積極的にご参加、ご協力頂き本当にありがとうございました。 遠隔講義時の皆様の理解度の確認方法や、今回のように講義内で本アンケートを実施する事が出来なかった場合の回答周知方法について、今後更に検討していきたいと思ます。

保健体育科教育法Ⅲ	後期	高井 雅一	話し方や説明内容が学生にうまく伝わっていなかったようである。話すスピードを落とし、学生の理解度を確認しながら授業を改善していきたい。また、グループワークの機会も増やしていきたい。
保健体育科教育法Ⅳ	後期	高井 雅一	学生による模擬授業を展開しているが、指導案の提出が遅れたり、指導案が改善されないままの授業があったりして学生が混乱した面もあった。しっかりした事前指導を心掛けて学生が自信をもって模擬授業を実施できるように工夫していきたい。